

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
兵庫チャンピオンシップ	2019/5/2	JpnII	園田	1870m	ミドルペース	重	総合力

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	フィエールデエス	牝3	54	石堂	サクラオールイン	サンデー系	シャンハイ	ミスプロ系	D	C	D	D	D	D		
2	2	ナラ	牝3	54	筒井	シニスターミニスター	ナスルーラ系	フレンチデビュティ	ノーザン系	D	B	D	D	D	D		
3	3	エナキョウ	牡3	56	吉原	トビーズコーナー	ノーザン系	ネオユニヴァース	サンデー系	D	A	D	D	D	D		
4	4	メスキータ	牡3	56	松山	ブラックタイド	サンデー系	アルカセット	ミスプロ系	C	B	C	C	B	B		
5	5	パンローズキングス	牡3	56	吉村	アサクサキングス	ノーザン系	ローエン格林	ノーザン系	D	A	C	C	C	C		
	6	ゴールドラゲーン	牡3	56	和田	ゴールドアリュール	サンデー系	Smoke Glacken	ミスプロ系	C	B	A	B	B	B	▲	
6	7	インベルフェット	牡3	56	永井	タイムパラドックス	ロベルト系	マイニング	ミスプロ系	D	D	D	D	D	D		
	8	ベストプレゼント	牡3	56	笹田	ショウナンカンパ	ナスルーラ系	トウカイテイオー	パーソロン系	D	C	D	D	D	D		
7	9	クリソベリル	牡3	56	ルメール	ゴールドアリュール	サンデー系	エルコンドルパサー	ミスプロ系	A	A	A	A	A	B	◎	
	10	クウミリマ	牡3	56	高畑	アサクサキングス	ノーザン系	ステイゴールド	サンデー系	D	D	D	D	D	D		
8	11	ダイシンインディー	牡3	56	岩田	ゴールドアリュール	サンデー系	Storm Cat	ノーザン系	C	B	B	B	B	B		
	12	ヴァイトブリック	牡3	56	戸崎	シンボリクリスエス	ロベルト系	アドマイヤベガ	サンデー系	B	B	B	B	B	B	○	

隊列図	見解	ラップタイム
ミドルペース	<p>ゴール ダイシ ヴァイ バンロ クリソ メスキ インペ エナキ ベスト ナラ クウミ フィエ</p> <p>デアフルーグ、オーヴァルエース、マスターフェンサー、クリソラベルなど粒ぞろいの今年の3歳ダート路線。その中でもまだ負け知らずのクリソベリルが兵庫チャンピオンシップに出走。全兄クリソライトはジャパンダートダービー勝ち馬という超良血馬（半兄、半姉にはマリアライト、リアファルなど）。同馬がここでどんな走りを見せるかがこのレースの最大の焦点といえるだろう。今年の地方勢は明らかに低レベル。クリソベリルほかJRA勢の上位独占が濃厚であり、波乱の余地がないので、印3点に絞って仕留めたい。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命はクリソベリルが無傷の3連勝を決めるだろう。新馬、2戦目の500万下ともに調教のようなレースで大楽勝しており（しかも前走は直線で流しながらタイムランクAをマーク）、今年の3歳ダート路線では間違いなく素質、能力ともにナンバー1と見ていいだろう。スタートがそこまで速くないのは今後さらなるステップアップをする上で課題になりそうだが、12頭立ての少頭数、最初のコーナーまでの距離がある園田1870mなら全く気にする必要はないだろう。（以下省略）</p>	

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	フィエールデエス		地元で未だに未勝利の馬。ここは参加するだけだろう。		
2	2	ナラ		2走前の浦和の桜花賞では6着に敗れ、前走ル・ブランタン賞では9着に敗退。ダートグレードでは荷が重い。		
3	3	エナキョウ		JRA 1勝馬で、転入初戦の菊花賞では3着に好走。地方勢の中では能力最上位も、JRAの2勝馬が相手ではさすがに分が悪い。		
4	4	メスキータ		コーナーでの反応が鈍く、直線に入ってエンジンがかかるタイプなので、コーナー6回の園田1870mでは力を出し切れずに終わるのではないかな。		
5	5	バンローズキングス		地元で4勝を挙げているが、重賞では園田ユースカップ7着、菊花賞6着と掲示板にも入れていない状況。ダートグレードでは荷が重い。		
	6	ゴールドラグーン	▲	枠順とスタートカを考えた時、主導権を握るのは本馬になりそう。過去5年の兵庫チャンピオンシップで4コーナー2番手以内にいた馬は【3.4.3.0】とすべて3着以内に好走しており、4コーナー2番手以内を確保できれば、馬券圏内には粘り込めるのではないかな。		
6	7	インベルフェット		地元で大敗続き。ここは参加するだけだろう。		
	8	ベストプレゼント		前走菊花賞では11頭立ての9着と全く歯が立たず。ダートグレードでは荷が重い。		
7	9	クリソベリル	◎	新馬、2戦目の500万下とともに調教のようなレースで大楽勝しており（しかも前走は直線で流しながらタイムランクAをマーク）、今年の3歳ダート路線では間違いなく素質、能力ともにナンバー1と見ていいだろう。川田騎手に替わってルメール騎手を確保できたのも大きく、ここは勝ち方が問われる一戦だ。		
	10	クウミリマ		地元で大敗続き。ここは参加するだけだろう。		
8	11	ダイシンインディー		スタートでゴトゴトする癖があり、2番手に控える形だと早めにクリソベリル、ヴァイトブリックにプレッシャーを受け、精神的にそこまで強くないので、自分から走るのをやめてしまいそう。		
	12	ヴァイトブリック	○	前走ヒヤシンスステークスで連勝がストップしたものの、勝ち馬オーヴァルエースはクリソベリルと並び現3歳ダート路線のトップに君臨している馬。負けた相手が悪かっただけで、デルマルレーヴル、マスターフェンサーに先着しているのだから、能力の高さは疑いの余地がない。		